

# まつぶしちょうりつかなすぎしょうがっこう 松伏町立金杉小学校

## 収穫体験・文化体験



## 第5・6学年

### 特色

学校応援団の協力を得て、毎年5年生が稲作を体験している。今年  
は田植えを教員で行い、児童は「稲刈りと脱穀」を体験できた。  
6年生は、修学旅行の代替行事として、「アマビエ灯籠づくり」を  
体験した。青森ねぶた祭りの「ねぶた師」の指導のもと、ねぶた和  
紙を使って思い思いのアマビエを描いて灯籠を制作した。コロナ  
禍の中、医療に従事する方々への感謝を感じながら伝統文化に触  
れる体験ができた。町の施設にも灯籠を寄贈する。

### 児童生徒 の感想

「米づくりの苦労がわかった。農家の方へ感謝の気持ちを持ってご  
飯を食べたいと思うようになった。」(5年)  
「ねぶたの材料で灯籠づくりを体験でき、日本の伝統文化を学ぶ機  
会となった。偏見や差別についても考えることができた。」(6年)

### 成果

毎年行っている田植えや稲刈り、脱穀などの体験を通して、農業と  
お米の大切さを理解することができた。  
アマビエ灯籠では、人々のつながりやコロナによる人権問題につ  
いて考え、偏見や差別をなくし、自他を尊重することを学んだ。